

電子自治体と公共イノベーション

電子行政推進シンポジウム、経団連

2012年12月21日、経団連ホール

川島 宏一

さがICTビジョン2008施策体系図

1 県民の情報利活用能力の向上

- ◇住民、高齢者、チャレンジドの情報リテラシー向上
- ◇ICTリーダーの育成、確保
- ◇学校におけるICT利活用促進
- ◇情報セキュリティ対策の推進

4 ICT利活用による地域産業の活性化

- ◇地域産業のICT利活用高度化
- ◇ICT産業の集積、国際連携(特にアジア)
- ◇在宅ワーク、モバイルワークの推進
- ◇産業を支えるICT関連人材の育成

学びあう地域づくり

佐賀から始まる・
佐賀から始める
もやい(つながり)
は佐賀から

暮らしを支える産業づくり

安全・安心な暮らしづくり

2 安全・安心な県民生活の実現

- ◇医療・福祉分野のICT利活用の推進
- ◇防災・防犯などの情報システムの整備充実
- ◇ワンストップ型地域ポータル構築

ユビキタスインフラづくり

5 最先端電子自治体の推進

- ◇ICT徹底活用による行政の簡素化・効率化
- ◇最先端電子県庁の構築
- ◇電子自治体の共同化・ネットワーク化推進
- ◇ワンストップ型地域ポータル構築(再掲)

3 便利な県民生活の実現

- ◇ワンストップ型地域ポータル構築(再掲)
- ◇生涯学習ネットワークの整備充実
- ◇在宅ワーク、モバイルワークの推進(再掲)

6 情報通信基盤の整備

- ◇条件不利地域のICT基盤整備(地デジ、携帯含む)
- ◇有線、無線活用による全県域の超高速ブロードバンド化
- ◇公共ネットワークの有効利用の推進

行政情報化の4つの壁



①縦割りの壁を崩す：佐賀県診療録地域連携システム

地域中核病院で検査

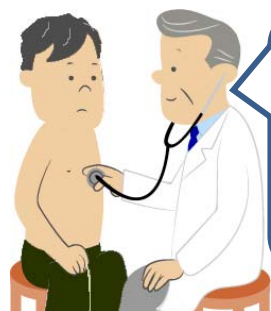
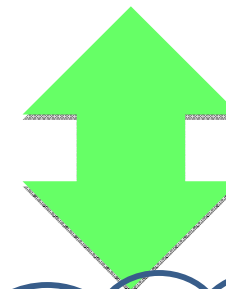
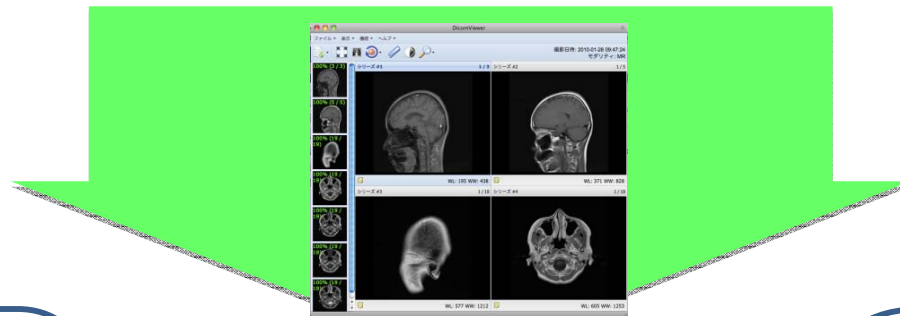
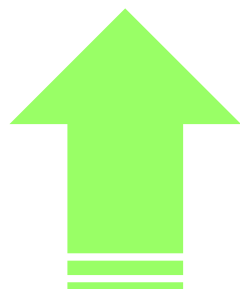


大学病院や県立病院で手術

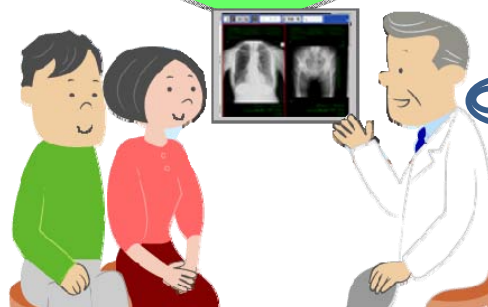


A病院

佐賀大学病院 県立病院



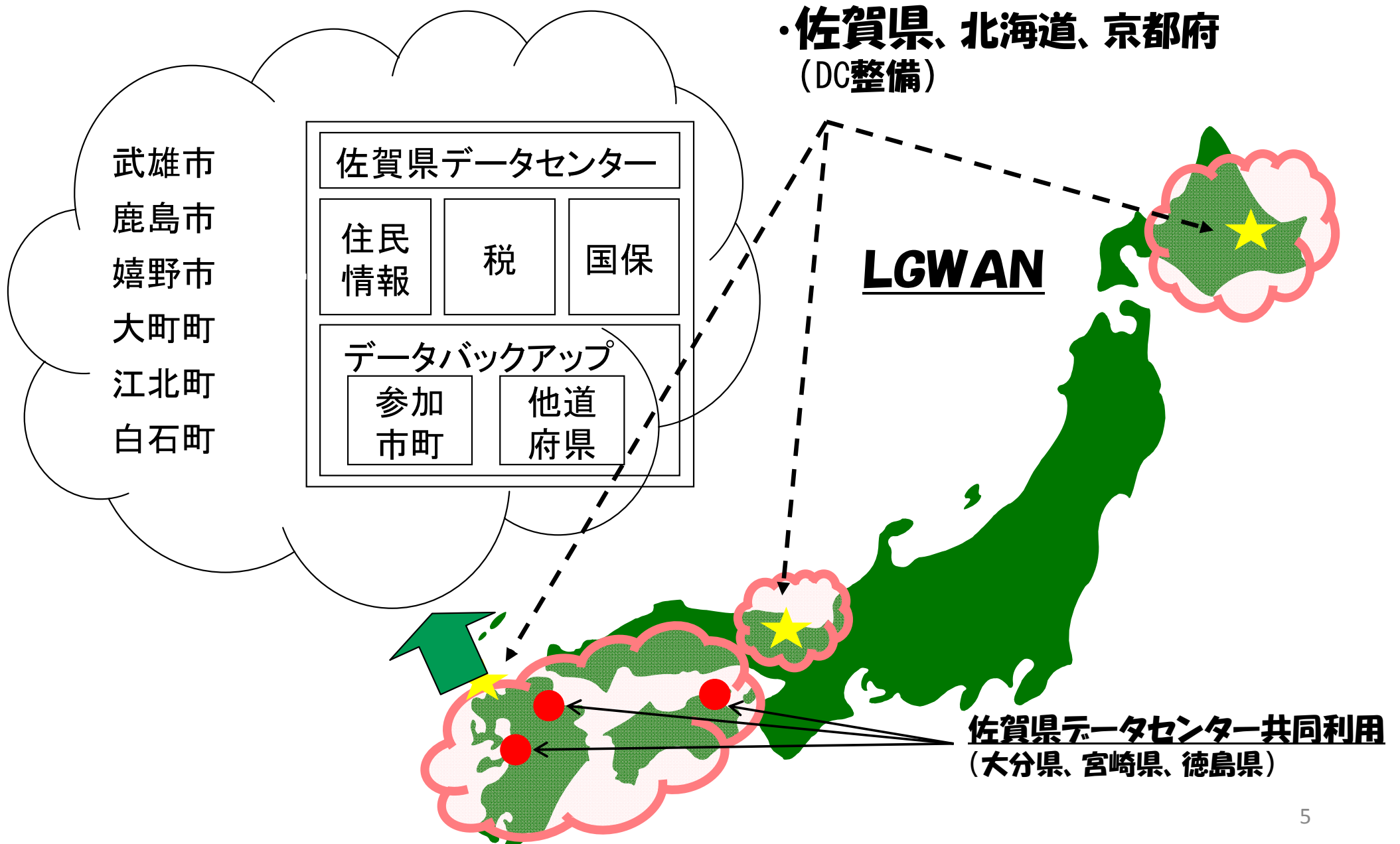
大きな病院で
詳しく検査して
もらいませう
か



大学病院などでの
手術、検査、投薬
等)のデータを見
ながら説明

診療所・クリニック(かかりつけ医)

②中央・地方の壁を崩す：自治体クラウド開発実証事業



③行政・民間の壁を崩す： イノベーション“さが”プロジェクト

公共サービスにおける課題情報の提供で、企業ビジネスを刺激する

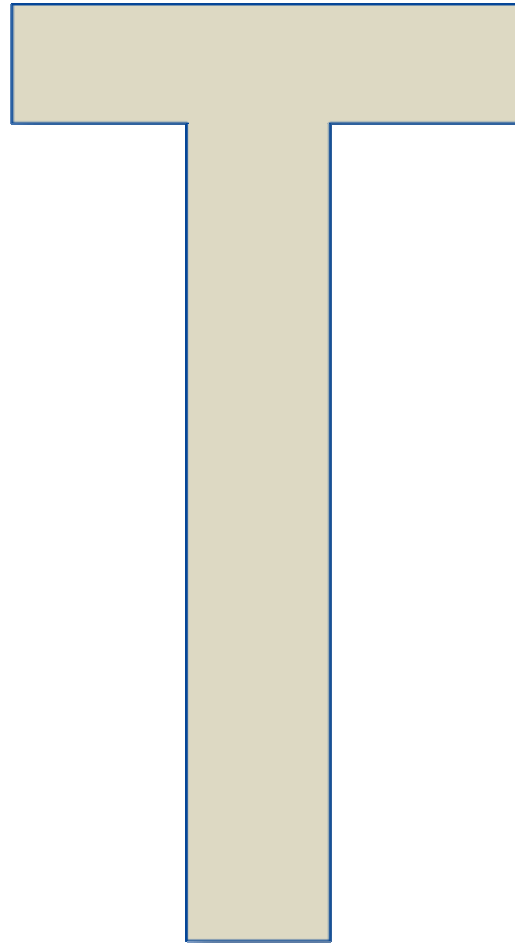
知識・経験 創意・工夫



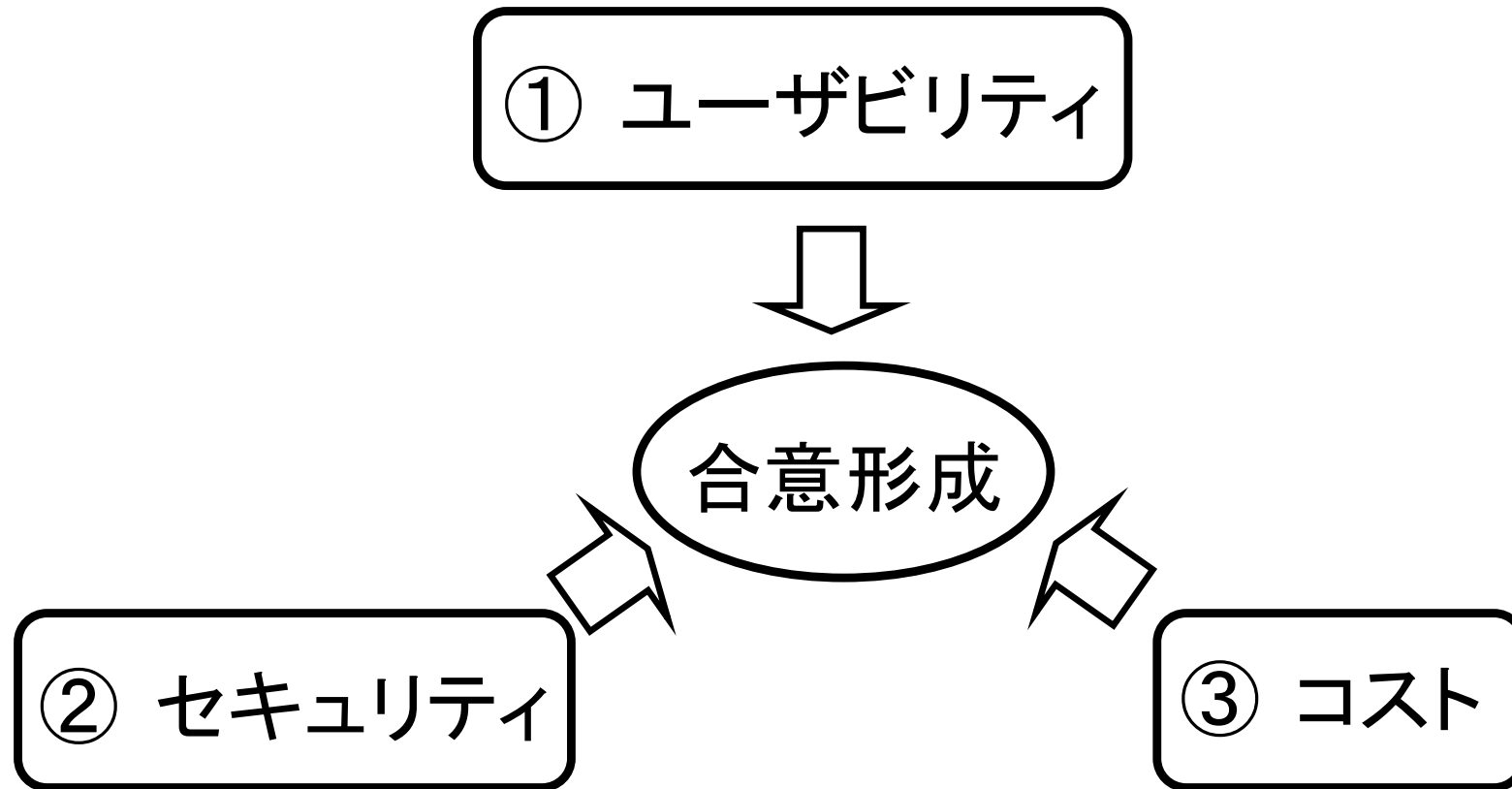
『新しいサービス』

公共サービスの質の維持向上及び経費の節減を図ることを目的として、県が民間、団体等と共同研究を実施し、県の行政実務に関する「知識・経験」と民間等の「創意・工夫」とを結合させることで“新しいサービス”のあり方を創造するプロジェクト。

求められているT型の能力



縦の能力 (ICT固有の専門知) は？



横の能力は？

1. 俯瞰する力
2. ルールを突破する力
3. 共感を呼ぶコミュニケーション力

いま産業界に求めたいこと

新たな価値を創出するために、ICTに関する知見をベースとして、社会システムの変革をデザインし、その変革の実現をリードし、変革を持続する方法とデータを、絶えず収集、分析、整理し、ニーズに応じて的確に提供すること